

會澤高圧コンクリート株式会社

産業用エンジン直動式ドローン、
水害予兆検知システムを使った各種研究開発



AZ-250

産業用無人機 AZシリーズの普及モデルとして開発中の小型高性能汎用機。250cc 4サイクル単気筒 SOHCエンジン搭載。開発コンセプトは「All Weather & Long Duration」。豪雨にも耐える全天候型のUAV。

The Guardian

巨大津波や年々激化する豪雨災害に対する備えとして自治体向けに提供する精密避難支援システム。衛星の地球観測データやドローンによるライブ映像を組み合わせ、住民に差し迫った危険をリアルに伝え、命を救う行動を促す。



概要

○北海道苫小牧市に本社を置く総合コンクリートメーカー。令和2年に浜松市へ「アラセ・アイザワ・エアロスパシャル合同会社」を設立し、並行していたドローン事業が本格化。同年、福島ロボットテストフィールドへ入居。

○令和5年春には、福島県双葉郡浪江町に、研究開発施設とコンクリート工場が一体となった「福島RDM²センター」が開所。同センターとも連携し、主に次の内容について研究を行っている。

「エンジンドローンでの津波観測方法の研究」、「災害時の悪天候下で必要とされる耐候性、飛行性能の向上研究、定量的評価手法の研究」、「災害時のドローン運用手法の研究」、「コンクリート業界の脱炭素を目指し、同業他社・各研究機関と共同研究開発」、「ドローンを活用したコンクリート3Dプリンターの研究開発」

○令和3年から開発を進めていたドローンと衛星のデータを連携させて津波や河川の氾濫から人の命を守るアプリタイプの精密避難支援システム「The Guardian(ザ・ガーディアン)」の浪江モデルが令和6年春に完成し、浪江町(福島ロボットテストフィールドが所在する南相馬市に隣接)に実装。引き続き精度向上、安全性強化のため実験・検証を継続。

【基本情報】

団体名 會澤高圧コンクリート株式会社
事業内容 エンジン直動式ドローン、水害予兆検知システムを使った各種研究開発
研究室 7号室
サイトURL <https://www.aizawa-group.co.jp/>
連絡先 k.katsuyama@aizawa-group.co.jp

